

環境経営レポート

[対象期間：2021年1月～2021年12月]



2022年2月10日

 井手運送有限会社

本 社
轟木営業所
鳥栖営業所
基山営業所

1. 組織の概要

1) 事業者名

井手運送有限会社
代表取締役 井手郁夫

2) 本社及び営業所と所在地

本社 福岡県小郡市小板井309番地1

3) 認証登録範囲

鳥栖営業所 佐賀県鳥栖市原町999番地1
(桜町事業所、第6・7・8倉庫、第1・2定温倉庫含む)
轟木営業所 佐賀県鳥栖市轟木町四本松1825番地2
(村田車庫、轟木倉庫含む)
基山営業所 佐賀県三養基郡基山町大字園部 2459番地11
(基山倉庫含む)
本社 福岡県小郡市小板井309番地1

4) 環境管理責任者及び担当者の連絡先

環境管理責任者: 谷誠一郎 庶務課長
事務局 (窓口): 谷誠一郎
連絡先電話 0942-72-3171 FAX0942-72-3173

5) 事業内容

一般貨物自動車運送業・貨物取扱業・倉庫業
資本金 6600万円

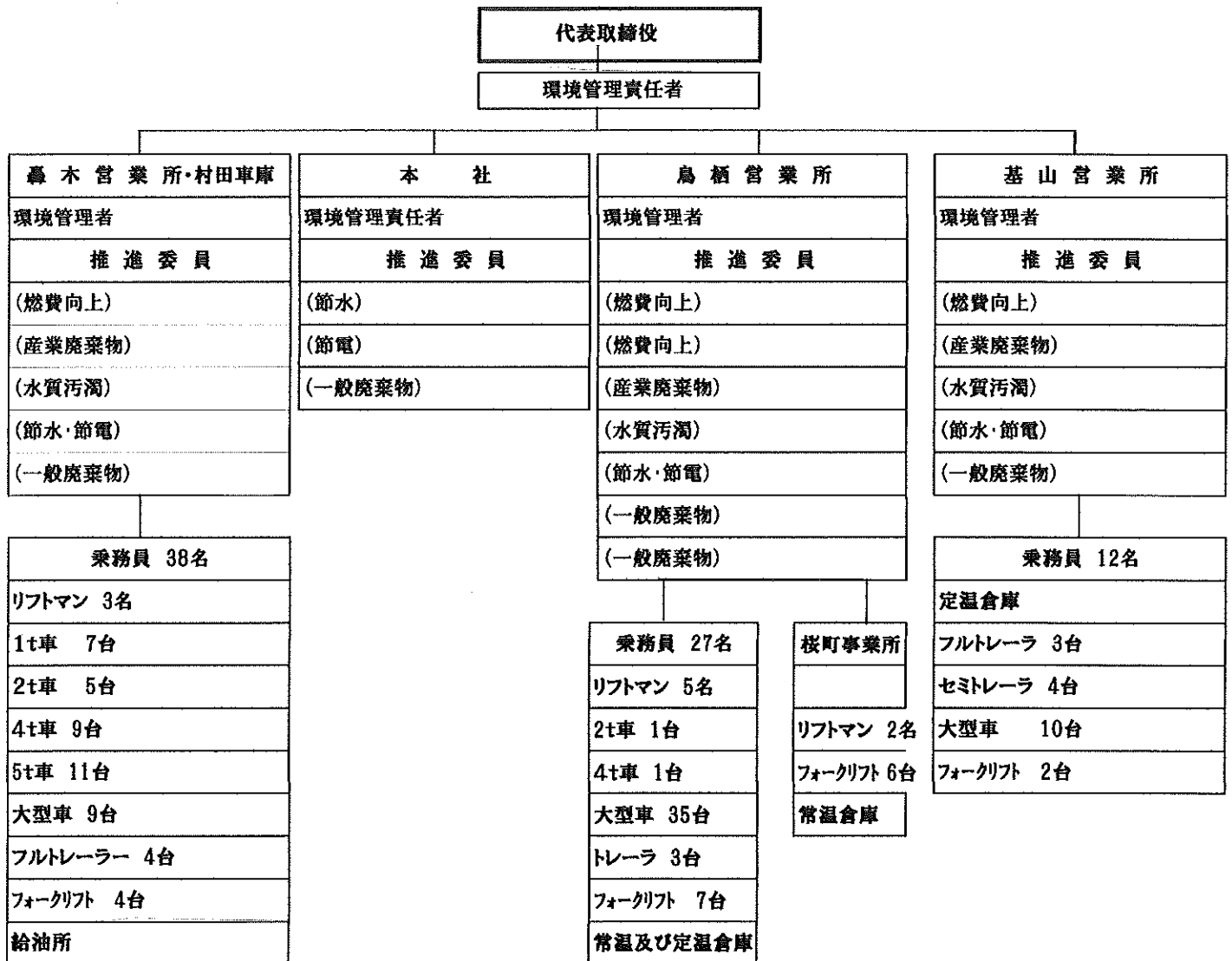
6) 事業規模

活動規模	単位	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年
売上高	百万円	1,900	1,995	1,937	1,902	1,854
従業員	人	123	123	131	124	114
床面積	m ²	10,385	12,847	14,241	14,241	14,241
(トラック台数)	(台)	112	119	116	109	102
対象事業所		全社	全社	全社	全社	全社

7) 認証登録の対象範囲

全組織・全活動

EA21 組織図及び役割分担表



EA21 役割分担表

担当職名(所属・役職)	役割・責任・権限
代表者(本社・代表取締役)	全体の統括、環境方針の設定・変更、環境経営システムの構築と運用、全体の評価と見直し
環境管理責任者(本社・課長)	全体の把握、環境経営システム構築・運用の提案・助言、環境管理者との連携・協力
環境管理者(基山営業所・所長)	営業所の統括、環境管理責任者と連携・協力、又各推進委員への指導・助言をする
環境管理者(鳥栖営業所・業務部長)	営業所の統括、環境管理責任者と連携・協力、又各推進委員への指導・助言をする
環境管理者(轟木営業所・所長)	営業所の統括、環境管理責任者と連携・協力、又各推進委員への指導・助言をする
推進委員(各営業所)	具体的な担当分野の管理をし、各環境管理者へ報告及び相談し、問題・改善を図る/月次レポートを作成し、本社へ報告、全社的には半年に1回そのレポートを元に状況分析・対策協議・改善を行う

2. 環境経営方針

環境経営理念

我々人類の将来にとって大きな脅威となる環境問題に企業として取り組み、持続可能な安全で豊かな社会に貢献する。

環境経営方針

環境への取組は企業活動の必要条件であると認識し、経済活動を維持しながら一人ひとりが日々の活動により環境問題を強く意識し、二酸化炭素削減・節水・廃棄物削減・緑化の維持管理などに取り組み、物流企業として地域環境の保全に寄与、社会的責任を果たす。

行動指針

- 1 環境問題推進体制の構築及び運用
- 2 適用される環境関連法規を遵守する
- 3 社員へ環境問題の重要性啓蒙と意識改革
- 4 二酸化炭素削減、水の使用削減、廃棄物削減
- 5 環境負荷低減の行動と物品購入
- 6 環境に配慮した活動

制定日：2006年4月1日

改定日：2021年3月1日

井手運送(有)

代表取締役 井手 郁夫



3.環境経営目標(全社)

環境目標	単位	基準年実績 (2019)	2021年目標 値	2021年目 標基準年 度削減率	2022年目 標基準年 度削減率	2023年目 標基準年 度削減率
1. CO2排出量削減	kg-CO2	3,971,901	3,893,750	-2.0%	-2.5%	-3.0%
(1) 購入電力						
事務所	電灯 kWh	35,070	34,368	-2.0%		
	電力 kWh	20,345	19,938	-2.0%		
倉庫	電灯 kWh	58,889	57,711	-2.0%		
	電力 kWh	135,671	132,958	-2.0%		
合計	kWh	249,975	244,975	-2.0%	-2.5%	-3.0%
(2) 軽油使用量						
トラック	kL	1,456	1,427	-2.0%		
リフト	kL	27	26	-2.0%		
合計	kL	1,480	1,451	-2.0%	-2.5%	-3.0%
(3) LPG使用量						
事務所	m ³	288	282	-2.0%		
リフト	m ³	29	28	-2.0%		
合計	m ³	317	311	-2.0%	-2.5%	-3.0%
2. 燃費向上						
(1) トレーラー	km/L	2.37	2.44	3.0%	3.5%	4.0%
(2) 大型車	km/L	3.40	3.50	3.0%	3.5%	4.0%
(3) 中型車	km/L	5.18	5.34	3.0%	3.5%	4.0%
(4) 準中型	km/L	10.33	10.64	3.0%	3.5%	4.0%
(5) 普通車	km/L	11.21	11.55	3.0%	3.5%	4.0%
3. 廃棄物削減						
(1) タイヤ	本/10万km	11.01	10.68	-3.0%	-3.5%	-4.0%
(2) 紙の使用	kg	1,148	1,114	-3.0%	-3.5%	-4.0%
(3) ゴミ排出	kg	1,292	1,253	-3.0%	-3.5%	-4.0%
4. 水使用量削減						
(1) 上水道	m ³	583	570	-3.0%	-3.5%	-4.0%
(2) 井戸水	m ³	612	590	-3.0%	-3.5%	-4.0%
合計	m ³	1,194	1,160	-3.0%	-3.5%	-4.0%
5. 環境負荷の低減						
(1) 事故	回	29	15	-50.0%	-50.0%	-50.0%
(2) 車両修繕費	千円/千km	12,466	11,593	-7.0%	-8.0%	-8.0%
(3) コピー枚数	枚	298,212	286,285	-4.0%	-5.0%	-5.0%
6. 環境に配慮した活動						
(1) 山林保護	回	2	4	4	4	4
(2) 清掃活動	回	1	4	4	4	4
特記事項(各排出係数)						
(1) 購入電力 0.613 kg-CO2/kWh (九州電力2013年実排出係数)						
(2) 軽油使用量 2.580 kg-CO2/L						
(3) LPG使用量 2.070 kg-CO2/1000L						

4.環境経営目標とその実績(全社)

環境目標	単位	2021年目 標 ①	2021年実 績 ②	実績 CO2 率	年目標と実績の比較		
					削減量 (①-②)	対目標比 (②/①%)	達成 状況
1. CO2排出量削減	kg-CO2	3,893,750	3,696,975	100%	196,775	95%	○
(1) 購入電力							
事務所	電灯 kWh	34,368	28,642	0%	5,726	83%	○
	電力 kWh	19,938	27,848	0%	-7,910	140%	×
倉庫	電灯 kWh	57,711	48,942	1%	8,769	85%	○
	電力 kWh	132,958	238,619	4%	-105,661	179%	×
合計	kWh	244,975	344,051	6%	-99,076	140%	×
(2) 軽油使用量							
トラック	kL	1,427	1,329	93%	98	93%	○
リフト	kL	26		0%	26	0%	○
合計	kL	1,451	1,351	94%	100	93%	○
(3) LPG使用量							
事務所	m ³	282	142.1	0%	140	50%	○
リフト	m ³	28	172.8	0%	-145	617%	×
合計	m ³	311	314.9	0%	-4	101%	×
2. 燃費向上							
(1) トレーラー	km/L	2.44	2.47		-0.04	102%	×
(2) 大型車	km/L	3.50	3.41		0.09	97%	○
(3) 中型車	km/L	5.34	5.24		0.09	98%	○
(4) 準中型	km/L	10.64	10.43		0.21	98%	○
(5) 普通車	km/L	11.55	11.19		0.36	97%	○
3. 廃棄物削減							
(1) タイヤ	本/10万km	10.68	6.6		4.1	62%	○
(2) 紙の使用	kg	1,114	1,583		-469	142%	×
(3) ゴミ排出	kg	1,253	1,255		-1	100%	○
4. 水使用量削減					0		
(1) 上水道	m ³	570	590		-20	103%	×
(2) 井戸水	m ³	590	218		372	37%	○
合計	m ³	1,160	808		353	70%	○
5. 環境負荷の低減							
(1) 事故	回	15	31		-16	207%	×
(2) 車両修繕費	千円/千km	11,593	13,015		-1,421	112%	×
(3) コピー枚数		286,285	322,224		-35,939	113%	×
6. 環境に配慮した活動							
(1) 山林保護	回	4	0		4	0%	
(2) 清掃活動	回	4	2		2	50%	
特記事項(各排出係数)							
(1) 購入電力	0.613 kg-CO2/kWh	実績CO2排出率		鳥栖	42%		
(2) 軽油使用量	2.580 kg-CO2/L			轟木	26%		
(3) LPG使用量	2.070 kg-CO2/1000L			基山	32%		
				本社	0%		

4.1.環境経営目標とその実績(鳥栖営業所)

環境目標	単位	2021年目標 ①	2021年実績 ②	実績 CO2 率	年目標と実績の比較			評価 番号
					削減量 (①-②)	対目標比 (②/①%)	達成 状況	
1. CO2排出量削減	kg-CO2	1,575,566	1,535,272	100%	40,294	97%	○	
(1) 購入電力								
事務所	電灯 kWh	16,491	12,185	0%	4,306	74%	○	①
	電力 kWh	7,363	9,046	0%	-1,683	123%	×	①
倉庫	電灯 kWh	36,396	33,061	1%	3,335	91%	○	
	電力 kWh	85,729	176,529	7%	-90,800	206%	×	②
	合計 kWh	145,980	230,821	9%	-84,841	158%	×	
(2) 軽油使用量								
トラック	kL	575	540	91%	35	94%	○	
リフト	kL	1	0.52	0%	0	52%	○	
	合計 kL	576	540	91%	36	94%	○	
(3) LPG使用量								
事務所	m ³	10	0.8	0%	9	8%	○	①
リフト	m ³	28	33.1	0%	-5	118%	×	③
	合計 m ³	39	33.9	0%	5	87%	○	
2. 燃費向上								
(1) トレーラー	km/L	2.14	2.07		0.07	97%	○	
(2) 大型車	km/L	3.59	3.38		0.21	94%	○	
(3) 中型車	km/L	5.41	5.30		0.11	98%	○	
(4) 準中型	km/L							
(5) 普通車	km/L							
3. 廃棄物削減								
(1) タイヤ	本/千km	10.5	10.7		-0.1	101%	×	
(2) 紙の使用	kg	609.2	678.0		-68.8	111%	×	④
(3) ゴミ排出	kg	270.6	234.0		36.6	86%	○	
4. 水使用量削減								
(1) 上水道	m ³	100	182		-82	182%	×	①
(2) 井戸水	m ³	230			230	0%	○	①
	合計 m ³	320	182		138	57%	○	
5. 環境負荷の低減								
(1) 事故	回	7	11		-4	157%	×	
(2) 車両修繕費	千円/千km	9,200	9,675		-475	105%	×	
(3) コピー枚数	枚	133,233	176,032		-42,799	132%	×	④
		0						
6. 環境に配慮した活動								
(1) 山林保護	回	1	0		1	0%		
(2) 清掃活動	回	1	1		1	100%		

結果の評価

- ① 拡張工事に伴う事務所改装工事 2020/1月から4月完成
井戸の撤去に伴い上水道使用量の増加/事務所 照明LED化、エアコン入替えに伴う消費電力削減
休憩所風呂のシャワー化、ガスコンロからIHへ
- ② 第2定温倉庫 2019/11月完成 又、4月から11月まで定温期間での冷却機稼働
電気リフト1台増加
- ③ リフトの燃料を軽油からLPGガス使用メインに変えたため、増加
- ④ FAXによる荷主注文の増加、それに伴う出荷指示書のコピー増加

4.2.環境経営目標とその実績(轟木営業所・村田車庫)

環境目標	単位	2021年目標 ①	2021年実績 ②	実績 CO2 率	年目標と実績の比較			評価 番号
					削減量 (①-②)	対目標比 (②/①%)	達成 状況	
1. CO2排出量削減	kg-CO2	1,168,181	964,310	100%	203,871	83%	○	
(1) 購入電力								
事務所	電灯 kWh	11,038	9,816	1%	1,222	89%	○	④
	電力 kWh	6,649	9,930	1%	-3,281	149%	×	①
倉庫	電灯 kWh	8,534	12,110	1%	-3,576	142%	×	②
	電力 kWh	2,328	3,435	0%	-1,107	148%	×	②
	合計 kWh	28,549	35,291	2%	-6,742	124%	×	
(2) 軽油使用量								
トラック	kL	421	344	92%	77	82%	○	③
リフト	kL	25	21	6%	4	84%	○	③
	合計 kL	446	365	98%	81	82%	○	
(3) LPG使用量								
事務所	m ³	162	172.8	0%	-11	107%	×	
リフト	m ³	0	0					
	合計 m ³	162	172.8	0%	-11	107%	×	
2. 燃費向上								
(1) トレーラー	km/L	2.91	3.11		-0.20	107%	×	
(2) 大型車	km/L	3.25	3.26		-0.01	100%	○	
(3) 中型車	km/L	5.26	5.18		0.08	98%	○	
(4) 準中型	km/L	10.64	10.43		0.21	98%	○	
(5) 普通車	km/L	11.55	11.19		0.36	97%	○	
3. 廃棄物削減								
(1) タイヤ	本/千km	5.9	2.2		3.6	38%	○	
(2) 紙の使用	kg	252.2	290.0		-37.8	115%	×	
(3) ゴミ排出	kg	208.6	210.0		-1.4	101%	○	
4. 水使用量削減								
(1) 上水道	m ³	240	178		62	74%	○	
(2) 井戸水	m ³	0	0		0			
	合計 m ³	240	178		62	74%	○	
5. 環境負荷の低減								
(1) 事故	回	7	16		-9	229%	×	
(2) 車両修繕費	千円/千km	7,990	9,479		-1,489	119%	×	
(3) コピー枚数	枚	90,444	77,617		12,827	86%	○	
6. 環境に配慮した活動								
(1) 山林保護	回	1	0		1	0%		
(2) 清掃活動	回	1	1		1	100%		
結果の評価								
① コロナ禍の影響により、換気促進に伴いエアコンの使用増加								
② 2019/5月 倉庫新設に伴い電灯・電力の増加								
③ 事業規模縮小により使用量減少								
④ 事務所蛍光灯をLED化								

4.3.環境経営目標とその実績(基山営業所)

環境目標	単位	2021年目標 ①	2021年実績 ②	実績 CO2 率	年目標と実績の比較			評価 番号
					削減量 (①-②)	対目標比 (②/①%)	達成 状況	
1. CO2排出量削減	kg-CO2	1,142,179	1,187,884	100%	-45,705	104%	×	
(1) 購入電力								
事務所	電灯 kWh							
	電力 kWh							
倉庫	電灯 kWh	12,781	9,186	0%	3,595	72%	○	①
	電力 kWh	44,901	53,240	3%	-8,339	119%	×	②
	合計 kWh	57,681	62,426	3%	-4,745	108%	×	
(2) 軽油使用量								
トラック	kL	431	446	97%	-15	103%	×	
リフト	kL	0						
	合計 kL	429	446	97%	-17	104%	×	
(3) LPG使用量								
事務所	m ³	110	108.2	0%	2	98%	○	
リフト	m ³	0	0					
	合計 m ³	110	108.2	0%	2	98%	○	
2. 燃費向上								
(1) トレーラー	km/L	2.26	2.24		0.02	99%	○	
(2) 大型車	km/L	3.67	3.60		0.07	98%	○	
(3) 中型車	km/L							
(4) 準中型	km/L							
(5) 普通車	km/L							
3. 廃棄物削減								
(1) タイヤ	本/千km	15.6	6.9		8.8	44%	○	
(2) 紙の使用	kg	110.6	208.0		-97.4	188%	×	③
(3) ゴミ排出	kg	238.6	297.0		-58.4	124%	×	
4. 水使用量削減								
(1) 上水道	m ³	110	106		4	96%	○	
(2) 井戸水	m ³	360	218		142	61%	○	
	合計 m ³	480	324		156	68%	○	
5. 環境負荷の低減								
(1) 事故	回	1	4		-3	400%	×	
(2) 車両修繕費	千円/千km	17,590	13,869		3,721	79%	○	
(3) コピー枚数	枚	31,350	40,233		-8,883	128%	×	
6. 環境に配慮した活動								
(1) 山林保護	回	1	0		1	0%		
(2) 清掃活動	回	1	0		1	0%		
結果の評価								
① 倉庫の水銀灯をLED化								
② コロナ禍の影響により、換気促進に伴いエアコン及びサーキュレーターの使用増加								
③ 顧客からの注文及び確認通達が紙ベースのためコピー用紙の使用が増加								

4.4.環境経営目標とその実績(本社)

環境目標	単位	2021年目標 ①	2021年実績 ②	実績 CO2 率	年目標と実績の比較			評価 番号
					削減量 (①-②)	対目標比 (②/①%)	達成 状況	
1. CO2排出量削減	kg-CO2	7,825	9,509	100%	-1,685	122%	×	
(1) 購入電力								
事務所	電灯 kWh	6,839	6,641	43%	198	97%	○	
	電力 kWh	5,926	8,872	57%	-2,946	150%	×	①
倉庫	電灯 kWh	0						
	電力 kWh	0						
	合計 kWh	12,765	15,513	100%	-2,748	122%	×	
(2) 軽油使用量								
トラック	kL	-						
リフト	kL	-						
	合計 kL							
(3) LPG使用量								
事務所	m ³	-						
リフト	m ³	-						
	合計 m ³							
2. 燃費向上								
(1) トレーラー	km/L	-						
(2) 大型車	km/L	-						
(3) 中型車	km/L	-						
(4) 準中型	km/L	-						
(5) 普通車	km/L	-						
3. 廃棄物削減								
(1) タイヤ	本/千km							
(2) 紙の使用	kg	141.6	237.0		-95.4	167%	×	②
(3) ゴミ排出	kg	535.4	519.0		16.4	97%	○	
4. 水使用量削減								
(1) 上水道	m ³	120	106		15	88%	○	
(2) 井戸水	m ³	0						
	合計 m ³	120	106		15	88%	○	
5. 環境負荷の低減								
(1) 事故	回	0						
(2) 車両修繕費	千円/千km	0						
(3) コピー枚数	枚	31,258	28,342		2,916	91%	○	
6. 環境に配慮した活動								
(1) 山林保護	回	1	0		1	0%		
(2) 清掃活動	回	1	0		1	0%		

結果の評価

① コロナ禍の影響により、換気促進に伴いエアコン及びサーキュレーターの使用増加

① コロナ禍の影響により、加湿器も2台フル稼働したため電力増加

② 紙の使用(コピー用紙)に関しては、%的にはかなり増えているが、冊数にすると許容範囲と思われる

5.環境経営計画(次年度の取り組み内容も含む)

テーマ	具体的施策	鳥栖営業所	轟木営業所	基山営業所	本社
1・CO2排出量削減					
(1)購入電力					
	・節電に対する意識				
	節電の掲示	○	○	○	○
	休憩時間の消灯	○	○	○	○
	使用しない部屋の消灯	○	○	○	○
	気温・気候に応じたエアコンの使用				
	冷気が逃げない断熱ドア開閉の心がけ	○		○	
	・設備導入				
	事務所照明LED化		○	○	
	サーキュレーター等での室温調整	○	○	○	○
	定温倉庫屋根太陽光の設置(自家消費・遮熱効果) (Jクレジット制度を利用したCoCoLoプロジェクト)	○			
	・設備点検				
	エアコンのフィルターの定期的な清掃	○	○	○	○
	冷却機のフィルター点検・定期清掃	○		○	
	・ エアコン室外機の「簡易点検」の3ヶ月毎の実施とその記録	○	○	○	○
(2)軽油使用量(=2.燃費向上)					
	・エコドライブ				
	急発進・急加速や空ぶかしの排除の励行	○	○	○	
	熱中症に配慮したアイドリングストップの励行	○	○	○	
	エコドライブの講習	○	○	○	
	各車両の燃費掲示、燃費向上の啓蒙	○	○	○	
	・効率的な運行計画				
	配車計画の充実	○	○	○	
(3)LPG使用量					
	・リフト				
	リフト作業中の無駄な空吹き禁止	○			
	電気リフト化の検討	○		○	
	・事務所				
	ガスからIHへの変更		○	○	
3.廃棄物削減					
(1)タイヤ					
	リトレッド(再生)タイヤの使用	○	○	○	
	空気圧の点検	○	○	○	
	スタッドレスタイヤへの適切な組換え	○	○	○	
	タイヤローテーションの実施	○	○	○	
(2)紙の使用					
	帳票など紙類の削減についての見直し	○	○	○	○
	両面コピーの利用	○	○	○	○
	裏紙使用	○	○	○	○
(3)ゴミ排出					
	分別回収ボックスの適正配置などにより、ごみの分別を徹底	○	○	○	○

テーマ	具体的施策	鳥栖営業所	轟木営業所	基山営業所	本社
4.水使用量削減					
	節水の表示	○	○	○	○
	洗車中の放水の禁止、バケツの使用	○	○	○	
	高圧洗浄機使用の奨励	○	○	○	
5.環境負荷の低減					
(1)事故					
	新入社員教育の実施	○	○	○	
	点呼時の注意喚起	○	○	○	
	適性診断の受診	○	○	○	
	安全講習会の実施	○	○	○	
(2)車両修繕費					
	定期点検の確実な実施による故障未然防止	○	○	○	
	エアエレメント、オイルエレメント、エンジンオイル定期交換	○	○	○	
	リサイクル部品の使用	○	○	○	
(3)コピー枚数					
	複数ページを集約	○	○	○	○
	電子化での保存	○	○	○	○
	コピー、プリンター印刷前の確認	○	○	○	○
6.環境に配慮した活動					
(1)山林保護					
	牛頸山維持管理により環境に対する意識高揚 (J-クレジット制度の創出者としての森林管理)	○	○	○	○
(2)清掃活動					
	3S整理・整頓・清掃)活動の実施	○	○	○	○
	給油スタンド油水分離槽の清掃		○		

6.環境関連法規等の遵守状況確認及び評価結果並びに違反・訴訟の有無

作成日：2005.6.29
 変更：2008.11.3 浄化槽法削除
 更新：2016.12.23
 更新：2017.12.23
 最終更新：2021.12.23

EA21-W04/R03	
承認	起案
	

法規、条例、規制	適用施設、設備等	法規等の要求事項			備考	定期評価及び遵守状況	
		届出書名 届出機関	適用条例	適用内容又は規制基準値		良否	確認印
消防法	自家用給油取扱所 (第4類 第2石油類 軽油) (最大容量 20,000 L)	鳥栖消防署	法10条～16条 法17条	<ul style="list-style-type: none"> ・消火器10型 3本 ・油分離槽設置 ・毎年気密検査実施 ・防火地域別一指定なし ・用途地域別一準工業地域 	鳥栖消防署立入検査一5年毎 危険物取扱者(乙種4類) 井手祥二 鳥栖営業所給油所廃止 2015 11月	良	2021年 12月23日
廃棄物	産業廃棄物 1. 廃油 2. 金属類	未回収時 佐賀県知事	産業廃棄物管理票交付 (マニフェスト票) 法12条3の1、5、7 規則8条の20、21、26、 28、29	<ul style="list-style-type: none"> ・記載事項：廃棄物の種類、荷姿、最終処分を行う所在地等 ・交付から90日以内(運搬、処理処分)及び180日以内(最終処分)に管理票の写しが未返却の場合、照合確認とともに知事に届ける ・管理票写しの保管：5年間保存 	<ul style="list-style-type: none"> ・A、B2、D、E票の返却 ・期間を過ぎてから30日以内に報告 	良	2021年 12月23日
			委託契約基準 法12条3、4、5項 令6条の2、規則8条4、 4の2、4の3	<ul style="list-style-type: none"> ・収集運搬業者及び処分業者との委託契約 ・委託契約書には許可書の写し添付 ・委託契約書の保管：5年間保管 			
	一般廃棄物(可燃物) 1. 紙類 2. プラスチック 3. 厨芥	鳥栖市条例第12号 鳥栖市規則第13号		市の指定袋に入れる事	鳥栖市回収 週2回(火、金)	良	2021年 12月23日
一般廃棄物(不燃物) 1. ビン、ペットボトル 2. 雑物(電池等)			1. ビン、ペットボトルは販売事業者回収 2. 雑物(電池等)は透明の袋に入れる事	週1回 随時			
水質汚濁防止法	自家用給油取扱所	届出	貯油設備等の破損で、油を含む水が公共水域に排出又は地下浸透した場合、応急処置を講じ速やかに届ける			良	2021年 12月23日
道路運送車両法	定期点検整備		第48条	<ul style="list-style-type: none"> ・3ヶ月点検実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・点検整備記録簿 	良	2021年 12月23日
	点検整備記録簿		第49条	<ul style="list-style-type: none"> ・点検の日付 ・点検の結果 ・整備概要 ・整備完了日 ・その他国土交通省令で定める事項 			
	年次検査(車検)		第58条	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年車検 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車車検証 		
	整備管理者の選任		第50・52条	<ul style="list-style-type: none"> ・2年に1回の講習受講 	<ul style="list-style-type: none"> ・運送事業に携わる営業所毎に各選任1名 		
大野城市 自然環境保護条例			第7条	<ul style="list-style-type: none"> ・水源地区及び良好な自然環境を確保する為、特に保護することが必要な区域 		良	2021年 12月23日
フロン抑制規制法 (改正フロン法)	平成27年4月1日施行 業務用エアコン、冷凍冷蔵機器 の管理者(使用者)		法第5条 法第16条 経済産業省・告示第13号	<ul style="list-style-type: none"> 指定製品及び特定製品の管理者の責務。当該特定製品に使用されるフロン類の適正化に努める。 ・第1種特定製品のそばに著しい振動を発生する機会等を置かない。 点検・修理するスペースを空けておく。 ・全ての第1種特定製品について簡易点検を3月に1回以上実施 ・7.5Kw～50Kw未満は、定期点検(知見を有するものが実施)を3年に1回以上。1000t-CO2以上の漏洩は届け出が必要。 ・点検の記録及び引取証明書は、機器を設置してから廃棄したあと3年間保存しておく。 ・廃棄物・リサイクル業者に機器を引き渡す時は、引取証明書の写しを作成し機器と一緒に、渡す。 		良	2021年 12月23日

参考法規

- ・地球温暖化対策の推進に関する法律
- ・特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律
- ・H27年 4月 フロン排出抑制法が施行
- ・騒音規正法
- ・振動規正法
- ・悪臭防止法
- ・環境基本法
- ・水質汚濁防止法
- ・大気汚染防止法
- ・道路運送車両法
- ・自動車リサイクル法

○当事業所に適用される環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反は有りませんでした。

また、関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

7. 代表者による全体評価と見直しの結果及び指示

環境問題については、SDGs（持続可能な開発目標）を第一義として、経営に落とし込むことが当社の使命である。しかしながら新型コロナウイルス感染拡大防止という、新たな問題をも同時に解決していかなければいけない。今期も昨季に引き続き、2019年（ウイルス発生以前）の数値を基準軸にして出発したため、結果として大きく増加した部分もあったが、全社員が環境問題に正面から取り組んだ姿勢は見られた。

(1) 課題

○トラックが排出する二酸化炭素は、燃料である軽油から大量に発生している。一方、燃料は、物流事業を営むにあたりその糧である。このことは環境と実業双方から見て相反するところではあるが、二酸化炭素排出を最小限に抑える努力を全員が惜しまないこと、そして同時に物流事業を拡大していくことに知恵を出し、工夫をこらすことが一番求められている。まずは一人一人が本気で燃費の向上を目差すことで、余計な燃料を消費しないようにする。とはいえ、厳寒時・酷暑時等ドライバー自身の健康に害を及ぼす環境下において、燃料節約のためにアイドリングストップを強いることは、正直言いづらい。

○新型コロナウイルス感染拡大を防ぐための室内換気は、健康管理の観点から、換気による気温差（寒い・暑い）をエアコン等で調整しているが、同時に余計な電力を使用し、温室効果ガスを増大させることとなっている。この他にも手洗い消毒、マスクの着用、防密対策のための設備の導入や購入等経費の増加に歯止めがかからない。

○紙の消費量がなかなか減少しない。ペーパーレスな社会を目指すとはいえ、まだまだファックスは企業において絶対的な存在である。送信も受信も、必ず一旦は紙に印刷しなければならない。運送において送り状等伝票はすべて紙製であり、さらに毎年保存する帳票も紙で保管している。世界規模でのペーパーレスへの制度改革の取り組みが必要である。

(2) 今後の取り組み

○環境と経営と健康を同時に上手く存在できる方法を模索する。

SDGsとは、日本流に例えるならば近江商人の「売り手良し、買い手良し、世間良し」いわゆる「三方よしの精神」で持続可能な社会の実現をみんなで目指す。

弊社が所有している森林（136,000坪）では、光合成により二酸化炭素を酸素へと還元させることで社会に貢献している。Jクレジット創出者として、適切な森林管理をおこなう。またJクレジット創設者であるからと、それに甘えることなくひとりひとりが「自分にできる環境問題の解決」を実践する。

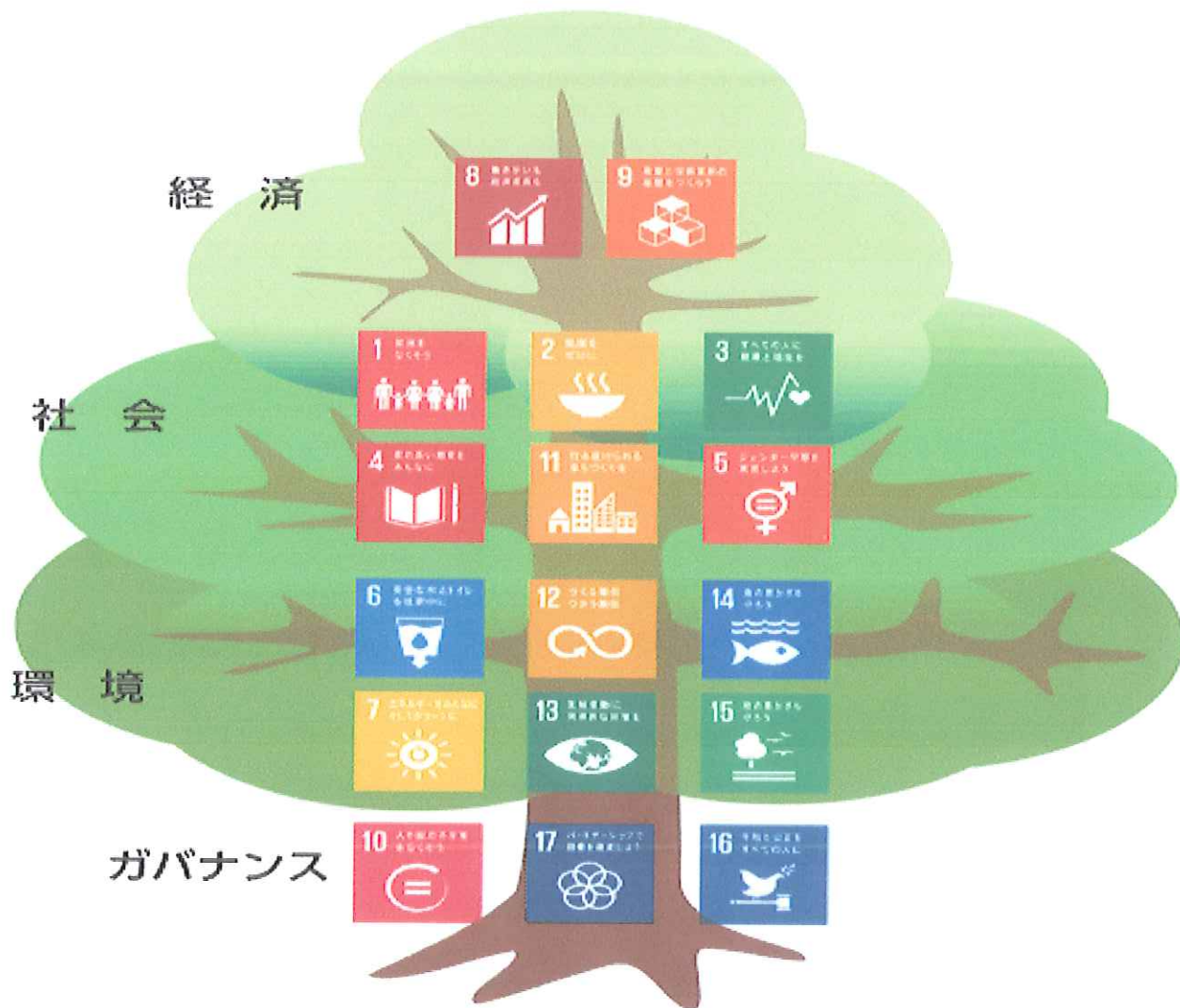
○環境効率の良い物流システムを構築し、顧客満足度をアップさせる。

○無駄なエネルギーの削減として必要最小限のアイドリングと、車両の手入れ（愛車精神）。

○事務所・倉庫内の照明をすべてLED化する等目標達成の速度を加速する。

○ウィズコロナを前提とした社員、家族の健康管理の推進

環境、経済、社会を三層構造で示した木の図



資料：環境省環境研究総合推進費戦略研究プロジェクト「持続可能な開発目標とガバナンスに関する総合的研究」より環境省作成

<追加> 2022年目標値の修正について

2021年の目標を立てるにあたり、当社の基準値（ベンチマーク）を2019年と定めた。その後2019年5月に轟木営業所に常温営業倉庫を1棟、同年11月に鳥栖営業所に低温営業倉庫を1棟、新築し現在稼働中である。特に鳥栖営業所低温倉庫はこれで2棟となり、庫内の温度調整に空調設備の電力消費が約2倍となっている。そのため2019年の基準値のままでは、大幅に増加した数値が今後を続けることが予想され、その他の項目についても、実現不可能な目標とならない様、適正に一部修正する。